

竹口町長がゲストティーチャー
 大山小6年生がプレゼンテーション
 『町の幸福論』コミュニティデザインを考える

12月8日、大山小学校で6年生が国語科『町の幸福論』の授業で、町の未来について調べたことを、スライドを使い班ごとに発表しました。

この授業は、資料を活用し自分の考えが伝わるように表現を工夫する力を育むことを目指します。

児童は『私たちがえがく町の未来』をテーマに、町の課題を見つけ、それを解決するための具体例を調べ、分かりやすく説明しました。



▶発表を終え一安心



▲スライドで分かりやすく説明

こんな大山町になればいいな！

- シーズンオフのスキー場活用：自然を生かして人とかかわりを生むために芝すべり大会やさうめん流しを行い、観光客を呼び込む
- 空き家を改修：カフェやポケットパーク（小さな公園）を作り、町内外の人が集える場所を作る
- 耕作放棄地を活用：コミュニティガーデン（花畑・野菜畑）を作り田舎体験ができるようにし、映えスポットとして若者を呼び込む

発表を終えた児童は、「発表は緊張したけど達成感がある」「願いが届けばいいな」と話しました。町長は、「これはいい！と思える活用案がたくさんあった。ぜひ町で生かしたい」と称賛しました。

小学校の授業と大山チャンネルがコラボレーション
 中山小5年生が番組制作
 『情報と私たちの暮らし』実践プログラム

大山チャンネルを制作する映像制作会社アマゾンラテルナ（大山町）の地域貢献活動の一環で、中山小5年生17人が社会科の授業で『大山チャンネルの番組づくり』に取り組みました。実践体験を通して、地域におけるメディアの役割を学び、情報を発信するスキルを主体的に身につけてもらうのが狙いです。

授業は3日間に分けて実施。

①テレビの仕組みを学ぼう

11月、番組プロデューサーを講師に迎え、放送の仕組み、番組制作の流れを勉強。

②みんなで番組を考えよう

続いての授業では「地域の人に、中山小の秘密を伝えよう」をテーマに3グループに分かれて、台本の内容や撮影の役割（カメラマン、レポーターなど）を決定。

③番組を作ってみよう

タブレットを使って撮影に挑戦。撮影した動画は、アマゾンラテルナが編集し、2月頃に大山チャンネルで放送予定です。

〈秘密の名人チーム〉



▲実際テレビで見たことある光景！？

〈秘密の博士チーム〉



▲先生に質問するぞ

〈秘密の場所チーム〉



▲歩きながらのリアル感ある撮影